

道路整備

八重山管内における県管理道路は、国道1路線30.1km、主要地方道2路線64.5km、一般県道11路線126.4km合わせて14路線221.0kmの延長となっている。
(令和2年4月1日時点、旧道は除く)

現在、道路事業は、主要地方道石垣港伊原間線、一般県道石垣空港線、平野伊原間線及び与那国港線の4路線で、道路の安全性や快適性の向上を目的とした事業を進めている。

そのうち、石垣空港線は、平成25年3月に開港した新石垣空港へのアクセス道路と位置づけており、市街地からの走行時間短縮や既存道路の交通渋滞緩和等が期待されている。国道390号を通るルートと比較すると延長で2kmの短縮、走行時間で16分の短縮効果が見込まれ、石垣市のみならず八重山圏域全体の物流・交流の活性化が期待されている。

石垣空港線においては、平成30年3月に県立八重山病院および石垣市役所の移転を踏まえ平得北交差点から市道タナド一線間約1.8kmの一部暫定供用、令和3年9月に市道宮良産業道路から国道390号間約2.0kmの部分供用を実施し、事業効果の早期発現を図っている。



市役所前暫定供用区間



空港前交差点から市街地方向



石垣空港線R3年度部分供用箇所(市道宮良産業道路から空港方向)



平野伊原間線 石垣市平久保



石垣港伊原間線 石垣市新川



川平高屋線 石垣市川平



石垣空港線 下田原大橋